

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム(大阪 HITEC)



「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」がテレビで放映

都市デザインWGが選定した「大阪府クールスポット100選：クールロード100選」が、関西テレビ※¹と読売テレビ※²のニュース番組で取り上げられました。

読売テレビの番組では、増田昇 都市デザインWG 主査への取材内容が放映されたほか、サーモグラフィ画像の比較、通行している方へのインタビューや涼しく感じられる時間帯など、わかりやすくクールスポット等について紹介いただきました。

テレビで取り上げられた大阪府クールスポット、大阪府クールロード（抜粋）



湊町リバープレイス浮庭橋



日本生命今橋ビル



京橋 読売テレビ前
大川にかかる橋



淀屋橋日本生命本店東館
の東側に緑のトンネル

大阪クールスポット

検索

ホームページはこちら

<http://www.coolsport-osaka.jp/>

※1：7月19日夕方放映 関西テレビ「みんなのニュース報道ランナー」

※2：7月28日朝 放映 読売テレビ「朝生ワイド す・またん」

会員向けホームページのご案内

大阪HITECでは、一般向けHPのほか、会員向けHPを作成しております。会員向けHPでは、各WGの最新の議事録のほか、今年度から、セミナーや総会の資料等を掲載しております。

専用ID・パスワードは、別途、メールにてご案内いたしますので、ぜひ、会員向けHPもご活用ください。

※会員向けHPへは、一般向けHPのメニューにある「会員用ページ」からお進みください。

ヒートアイランド適応策導入に向けたWG横断勉強会を開催！

▽開催日 平成29年8月18日(金)、11月28日(火)

▽場所 大阪市環境局(あべのルシアス)

今年度から実施することとなりました、ヒートアイランド適応策導入に向けたWG横断勉強会を、8月と11月に開催しました。

第1回の勉強会では、竹林英樹 素材関連WG主査から、「適応策メニューの整理」「適応都市の具体像の検討」「適応都市の評価方法の検討」の3項目に分けて取り組むことが提案され、また、本取組みの二ーズに対する行政の認識を確認したいということになりました。

第2回の勉強会では、評価方法に関して研究されている奈良女子大学の吉田伸治 准教授にも新たにご参加いただきました。内容としましては、竹林 主査から適応策メニューと評価指標を整理したものや、適応策メニューとSET*の感度解析についてご説明いただき、大阪府から行政課題や施策、地域適応コンソーシアム事業^{※3}にて検討される「熱ストレス増大による都市生活への影響調査」の概要を紹介いただきました。

今後は、評価に関係する指標や方法についてのレビュー等をテーマとして第3回の勉強会を開催する予定です。内容がまとまりましたら、技術セミナーでWG横断勉強会の議論を紹介することを予定しています。

※3：地域適応コンソーシアム事業：各地域の二ーズに沿った気候変動影響に関する情報の収集・整理を行うとともに、地方公共団体、大学などとの連携体制を構築し、具体的な適応策の検討を進める環境省・農林水産省・国土交通省の連携事業

ヒートアイランド対策技術セミナーを開催

▽開催日 平成29年6月21日(水) 15:20~17:00

▽場所 大阪歴史博物館

セミナーには、大阪HITEC会員、企業、研究機関の方、大学生など、約50名の皆様にご参加いただき、大阪工業大学 高山成 准教授(クールスポット創造技術手法WG幹事)から「都市空間における暑熱感の評価」について、摂南大学 森山正和 特任教授(大阪HITEC理事長)から「クールシティへのビジョン」について紹介しました。

高山 幹事からは、東京オリンピックのマラソンコースで暑熱環境評価に基づいた熱中症対策が検討されていることや、発汗量等を考慮した暑熱ストレス度(HSD)の解析結果について説明しました。

森山 理事長からは、エコシティのイメージ、クールルーフや道路・駐車場の舗装の具体例を紹介したほか、クリマアトラスや風の道計画について説明しました。また、最後に、ヒートアイランド適応策に関するWG横断勉強会の開催について紹介しました。



都市空間における暑熱感の評価について



クールシティへのビジョン

クールスポット体感説明会を開催

▽開催日 平成29年8月24日（金）15:00～17:30

▽場所 てんしば、天王寺動物園等

都市デザイン WG の主催により、昨年度に引き続き開催したクールスポット体感説明会には、大阪 HITEC 会員や大学生など、約25名の皆様にご参加いただきました。

当日は、てんしば（天王寺公園エントランスエリア）に設置されているドライミスト等の周辺、天王寺公園内に整備されている大阪 HITEC 認証製品の高日射反射率舗装の周辺及び大阪府クールスポットモデル拠点推進事業でドライミスト、遮熱性フィルムを設置したあべのキューズモール等において、クールスポットの涼しさを体感するとともに暑熱環境の測定を行いました。暑熱環境の測定は、鍋島美奈子 都市デザイン WG 幹事や大阪市立大学の学生さんからご指導いただきながら、全員参加型で行いました。また、日本ヒートアイランド学会が配布している「暑さマップ」アプリも使用して、参加者が感じる暑さの程度を記録しました。

そのほかにも、日本ペイント・インダストリアルコーティングス(株)様、東洋紡 STC(株)様、日本興業(株)様のご協力により大阪 HITEC 認証製品や気化熱で涼しく感じる椅子等を出展いただき、認証製品は通常舗装と比べてどれくらい温度が下がるのか、椅子はどのように涼しく感じるのか等を計測・体感しました。

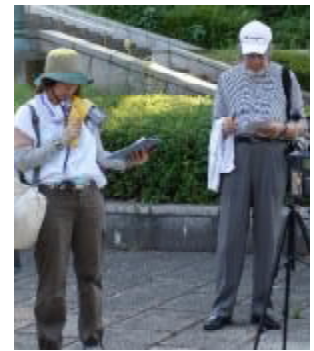
当日の様子は建通新聞（8月29日13面）にも掲載されました。この体感説明会を契機に、ヒートアイランド対策製品の普及やクールスポット整備への理解が深まることを期待します。



ドライミスト付近での測定



水の気化熱を利用した椅子



増田先生、鍋島先生による測定結果の解説

イベントで大阪HITECや認定製品を紹介

▽開催日 平成29年8月6日（日）13:00～15:00

▽場所 あべのキューズモール

大阪府主催のイベント『ヒートアイランド「適応」啓発イベント「司令官はキミだ！暑さ攻略大作戦！！』において、大阪 HITEC と認証製品の概要についてポスター展示をしました。



ポスター展示の様子



当日は多くの来場者で賑わいました

韓国の専門家が来阪

▽開催日 平成29年11月29日(水) 10:00~12:30

▽場所 大阪府庁

韓国でのヒートアイランド対策施策等の検討のために、韓国の環境部(日本の「環境省」に相当)及び気候変動センターの方(5名)が、大阪HITECの事業内容等を調査するために来阪され、大阪府と事務局で対応しました。

大阪HITECからは設立の経緯、近年の活動内容、認証制度について、大阪府からはおおさかヒートアイランド対策推進計画、クールスポットモデル拠点推進事業等について説明しました。また、天王寺動物園内で使用されている大阪HITEC認証製品やあべのキューズモールのドライミストや遮熱性フィルムを見学いただきました。

韓国の現状をうかがうと、主なヒートアイランド対策は、クールルーフとクールペーパメントとのことで、環境部が主体となって補助事業を行っているということでした。また、クールルーフ用の日射反射塗料は、近年、普及し始めたところで、まだ製品の供給が少ないとのことでした。



理事会・総会を開催



昨年度活動報告・今年度の活動方針を検討

▽開催日 平成29年6月21日(水) 13:30~15:00

▽場所 大阪歴史博物館

「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム」の理事会・総会を開催し、平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)、理事の再任・選任について、承認されました。

企画運営委員会を開催



今年度の活動方針・総会の議案を検討

▽開催日 平成29年6月1日(水) 16:00~18:00

▽場所 国民會館武藤記念ホール 小ホール

理事、各WG主査、大阪府、大阪市が参加し、各WGの事業計画やWG横断勉強会の開催、理事会及び総会に係る議案書等について検討しました。

WGの会議を開催

第35回素材関連WG

▽開催日 平成29年11月15日(水)
▽会場 大阪府立大学

今年度の事業計画について共有するとともに、CASBEE-HI改訂にあたり大阪HITEC認証基準が追記されたことや海外の状況、認証基準の申請状況等について報告しました。

第36回熱有効活用・人工排熱低減WG

▽開催日 平成29年2月17日(金)
▽会場 あべのルシアス

関西電力(株)様から熱供給システムについて情報提供いただき、西村 主査から本WGの歩みと課題について説明の上、検討しました。

第28回都市デザインWG

▽開催日 平成29年6月13日(火)
▽会場 大阪府新別館

今年度の事業計画について共有するとともに、夏に開催するクールスポット・クールロードの体感説明会の開催に向けて日時、場所、調査項目等の選定、検討しました。

第29回都市デザインWG

▽開催日 平成29年7月12日(水)
▽会場 大阪府新別館

平成29年夏に開催するクールスポット・クールロードの体感説明会の開催に向けて行程等詳細を検討しました。

平成29年度のワーキンググループ事業計画

昨年度に引き続き、各部会ワーキンググループでは、それぞれのテーマについて検討を実施しています。

素材関連ワーキンググループ

(反射、遮熱、外断熱等に資する素材の研究、具体的活用の提案)

- ①CASBEE-HIの改訂に当たり、認証対象技術の採用に繋がるよう、認証制度の情報提供等を行い働きかける。
- ②米国のCool wallや国際的な再帰性反射材料の取り組みについて情報交換、収集を行い新たな素材に関する検討の可能性を追求する。

熱有効活用・人工排熱低減
ワーキンググループ

(潜熱化、排熱利用、省エネ・新エネ・代エネ技術(ESCO含む)による対策手法の調査、活用)

[人工排熱の大気熱負荷削減効果の推奨制度の確立]

- ①空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果および熱汚染対策効果の推奨方法
 - ・空冷空調機用排熱低減対策装置の調査
 - ・蒸発量データ等による大気熱負荷削減効果の検証方法の確立
 - ・排気温度調査等による熱汚染対策効果の検証方法の確立
 - ・推奨範囲(推奨対象、期間など)の設定

・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果の関連性調査

②人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術を対象にした大気熱負荷削減効果の推奨方法

- ・人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術の調査
- ・河川水・海水利用、地中熱利用に関する経験を有する新たなWGメンバーの選定
- ・運用データを用いた大気熱負荷削減量の効果の検証方法の確立
- ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価
- ・人工排熱を大気以外の媒介に処理する技術の設計段階における効果推奨方法の検討

③大気の直接冷却技術の調査

- ・空気熱源ヒートポンプ、冷却塔、水噴霧など大気を直接冷却する技術の調査
- ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価

④推奨制度の確立

- ・設計段階と運用段階での制度確立

〔熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報〕

- ・学術研究者や会員を講師にした関連技術等の話題提供や情報交換を行うとともに、情報収集、文献調査を実施する。
- ・今後、空冷空調機用排熱低減対策装置以外の新たなヒートアイランド対策技術の検討を進めるため、ゼネコン、エネルギー業界、自動車業界、住宅・ハウスメーカーの関係者と情報交換を行うとともに、情報収集を実施する。

クールスポット創造技術手法 ワーキンググループ

（緑化、水活用（噴霧、散水）等技術手法の研究、具体的活用の提案）

①緑化技術に関する評価シートの項目、評価手法について、引き続き検討を行う。

②平成26年度に作成した簡易測定装置を活用し、測定依頼があった場合、実際の屋上等の施工現場で実測を行い、屋外現場での装置の測定性能評価を行う。

③水を利用した道路を冷ます技術など、水を活用

したクールスポット創造技術に関する評価シートの項目や評価手法等の検討を行う。

④緑化が困難な場所等での保水性資材を用いた温度低減効果など新たな提案の検討を行う。

⑤昨年度実施したアンケート結果も踏まえつつ、認証制度への展開やWG活動の今後のあり方について検討する。

⑥随時、緑化技術をはじめとした様々なクールスポット創造技術に関する情報交換、及び他のWGとの情報交換を行う。

熱負荷評価手法ワーキンググループ

（熱負荷削減評価手法の検討）

引き続き、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行う。

都市デザインワーキンググループ

（地域における「あるべき都市デザイン」の検討・提言）

①クールスポット・クールロード100選や過去のアイデアコンペの成果を用いたワークショップを実施し、新たな対策技術、特に適応策への貢献や新たなライフスタイルのあり方等を取りまとめるとともに啓発活動のあり方を検討する。

②啓発活動の一環としてクールスポット・クールロードの現地研修会を実施し、その際、暑熱環境等の計測技術を講習する。

③大阪府クールスポット100選（平成24年夏実施）及び大阪府クールロード100選（平成27年度夏実施）のホームページを継続する。

暑熱環境改善等に向けた大阪府の取り組み

大阪府が実施している、「ヒートアイランド対策」や「気候変動の影響への適応」のための事業をご紹介します。

(1) 夏の屋外空間の暑さを改善する「クールスポット」の創出

平成 28 年度から、街中に先進的なクールスポットをモデル的に整備するために必要な経費の一部を補助する事業「クールスポットモデル拠点推進事業」（整備費用の半額を補助、上限 400 万円）を実施しています。

本事業により、これまでに、あべのキューズモール（大阪市）、SENRITO よみうり（豊中市）に新たなクールスポットが誕生しました。来年は難波にクールスポットが誕生予定！これらがキッカケとなって、さらに大阪にクールスポットが増えていてもらいたいと思っています。

皆さん、まずは、現地で涼しさを体感してみてください！



あべのキューズモール



SENRITO よみうり

詳しくは…

大阪府 クールスポットに出かけよう

検索

(2) 気候変動による影響への「適応」の普及

気候変動の影響への「適応」とは、温暖化の進行を前提に、現実の、又は将来予想される気候変動の影響に備え、その被害を回避し、又は和らげ、もしくは有益な機会として活かしていこうという考え方はです。

この「適応」についての理解を深め、地域での実践につなげるため、今年度から「温暖化『適応』推進事業」を開始しました。「適応」に取り組むキックオフイベントとしてシンポジウムを開催するとともに、ヒートアイランド対策の啓発をはじめ、防災、森林保全など様々な分野での「適応」をテーマに環境 NPO と協働した啓発活動を実施しました。

また、大阪府では、平成 29 年 12 月に府域における「適応」の基本的方向性を盛り込む「大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定を行い、府の「適応計画」と位置づけました。

今後は計画に基づき「適応」の取組みを着実に推進していきます。



温暖化の影響と里山の森を守る活動について学ぶセミナー



おおさか気候変動「適応」シンポジウム

詳しくは…

大阪府 適応

検索

大阪HITECの会員区分・年会費

- 法人会員（議決権1口につき5票）50,000円／1口
- 個人会員（議決権1口につき1票）
 - ・企業に勤務する個人 10,000円／1口
 - ・大学、試験研究機関、行政機関、公的機関に勤務する個人 5,000円／1口
 - ・学生 1,000円／1口

※ 年会費は、当該年度の4月末までにお納めいただくことといたしておりますが、年度途中の新規ご入会はその都度対応いたします。

また、年会費納付のご案内の際に、毎年、会員のご連絡先（担当者）について、確認をさせていただいておりますので、ご協力のほど、あわせてお願いいたします。

※大阪HITECは随時会員募集を行っています。

詳細な入会案内については、大阪HITECのホームページをご覧ください。

◆◆◆大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの構成メンバー◆◆◆

【法人】アーキヤマデ株式会社、株式会社いけうち、株式会社エスシーエイエヌ、大阪ガス株式会社、株式会社大林組、株式会社カネカ、関西電力株式会社、ケイミュー株式会社、住ベシート防水株式会社、太平洋プレコン工業株式会社、太陽エコブロックス株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社大高商会、大日化成株式会社、株式会社竹中工務店、デクセリアルズ株式会社、東洋紡STC株式会社、株式会社トルス、日新工業株式会社、日鉄住金鋼板株式会社、一般社団法人日本塗料工業会、株式会社フッコー、株式会社ベルテック、ユニソングループ（株式会社ユニソン、株式会社ユニソン西日本）（以上24法人）
（平成30年1月現在）

【個人】17名

【大学】大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、関西大学、摂南大学、大阪工業大学

※上記大学の学識経験者が参画しています。

発行／大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局

〒583-0862 羽曳野市尺度442

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所内

TEL:072(979)7062 FAX:072(956)9790 URL:<http://www.osakahitec.com>